

1. 諸会議の開催

(1) 理事会

開催日	名 称	議 題
2017. 5. 22	2017 年度第 1 回理事会	1) 2016 年度 事業報告、計算書類、附属明細書 2) 2016 年度 財産目録 3) 社会福祉充実計画 4) 次期理事・監事選任候補者の推薦 5) 評議員選任候補者の推薦 及び評議員選任・解任委員会の招集
2017. 6. 20	2017 年度第 2 回理事会	1) 次期理事長・副理事長の選定
2017. 10. 16	2017 年度第 3 回理事会	1) 第 1 四半期の収支経過報告 2) 事務局員就業規則改定 3) 評議員辞任に伴う評議員候補者の推薦 及び評議員選任・解任委員会の招集
2018. 3. 12	2017 年度第 4 回理事会	1) 2018 年度 事業計画 2) 2018 年度 予算

(2) 評議員会

開催日	名 称	議 題
2017. 6. 16	2017 年度定時評議員会	1) 2016 年度 事業報告、計算書類、附属明細書 2) 2016 年度 財産目録 3) 社会福祉充実計画 4) 次期 理事・監事選任
2018. 3. 29	2017 年度臨時評議員会	1) 2018 年度 事業計画 2) 2018 年度 予算

(3) 監査等

開催日	名 称	備 考
2017. 5. 18	2016 年度 決算監査	監事による決算のための監査
2018. 1. 25	平成 27 年度 共同募金配分 事業に係る調査	社会福祉法人 茨城県共同募金会 による監査

(4) 評議員選任・解任委員会

開催日	名 称	備 考
2017. 5. 30	第 2 回評議員選任・解任委員会	評議員辞任に伴う評議員の選任
2017. 10. 16	第 2 回評議員選任・解任委員会	評議員辞任に伴う評議員の選任

2. 実施事業

1) 電話相談員の募集・養成及び研修

- (1) 第33期電話相談員養成講座受講生を募集し、12名の受講生を決定し養成講座を開講した。
- (2) 第32期電話相談員の養成2年目の研修を修了し、新たに17名を電話相談員に認定した。
- (3) 継続研修としてグループ研修(8回)・全体研修(2回)を行い、研修・相互サポート・組織への理解を深めた。
- (4) 電話相談員認定3年目・5年目の節目の研修・希望スーパービジョン・アドバンス研修等を実施した。
- (5) 研修スタッフの研修を継続的に実施した。
- (6) 研修スタッフ第6期養成講座を実施した。
- (7) 各種研修会などへ積極的に参加を図った。
- (8) 相談員募集周知のため、2018年3月18日(日)にイーアスつくばホールにて自殺予防公開講座「統合失調症がやってきた一心の健康を支えあう」を講師:松本キック氏を迎えて開催した。参加者150名からは大好評を得た。

2) 調査・研究活動

2017年(1~12月)の統計資料を作成した。

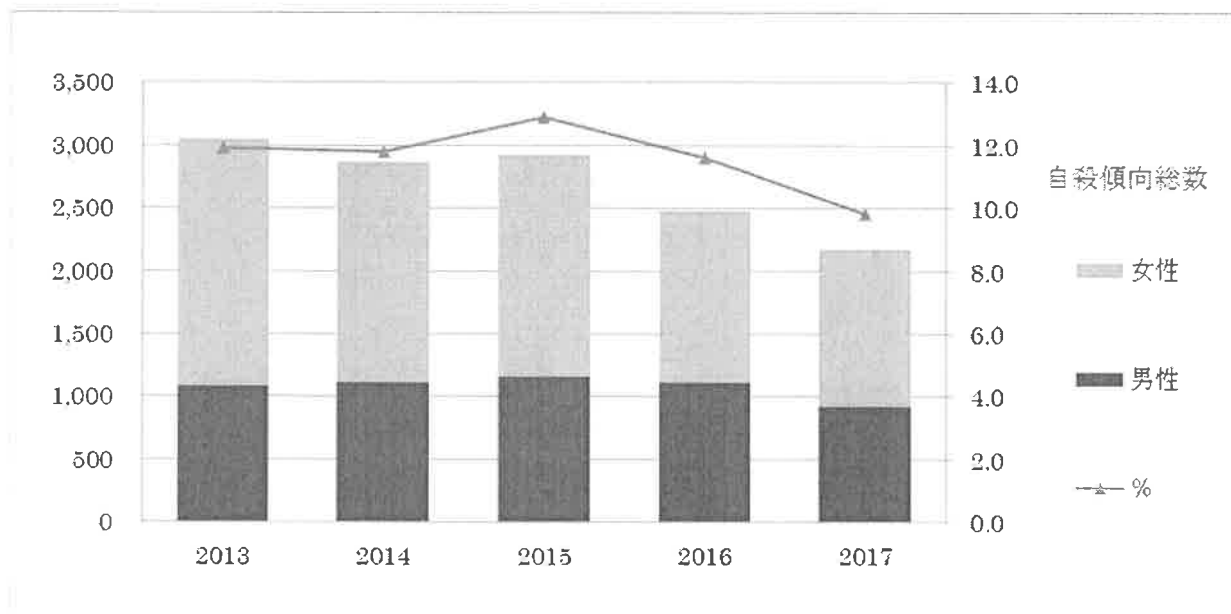
(1) 2017年総受信件数と自殺傾向件数 (単位:件)

	男性	女性	計
総受信件数	10,320	11,834	22,154
自殺傾向受信件数	919	1,250	2,169

* 件数には、厚生労働省補助事業フリーダイヤルの件数を含む。

(2) 自殺傾向受信件数の推移 (単位:件)

年度	2013	2014	2015	2016	2017
男性	1,084	1,116	1,158	1,117	919
女性	1,966	1,751	1,771	1,358	1,250
%	11.9	11.8	12.9	11.6	9.8
男女計	3,050	2,867	2,929	2,475	2,169
総件数	25,619	25,619	22,739	21,293	22,154



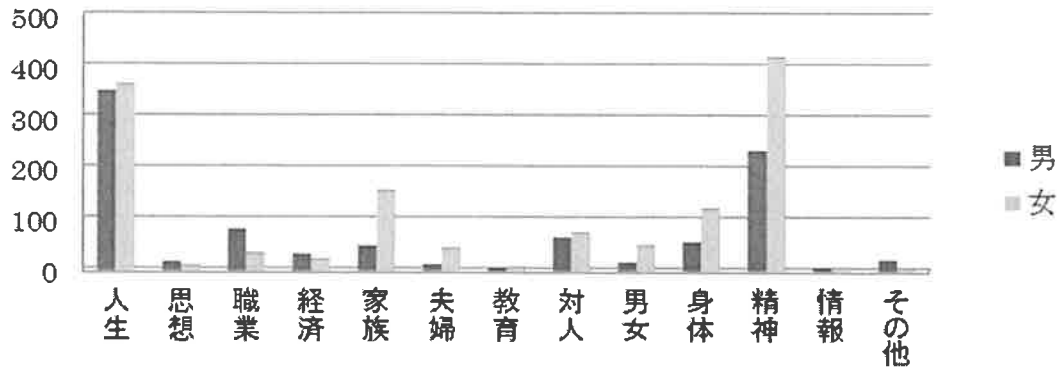
昨年と比べると、自殺傾向の電話の割合は2年続けて減少している。男性はあまり変化がないが、女性の件数が減少している。同一人物と思われる人が繰り返しかけてくる場合も見られる。

(3) 「内容別」自殺傾向の電話

(単位:件)

	人生	思想	職業	経済	家族	夫婦	教育	対人	男女	身体	精神	情報	その他	合計
男	350	15	79	30	46	10	2	63	14	54	233	4	19	919
女	364	9	33	21	156	43	6	74	49	121	418	6	4	1,250
合計	714	24	112	51	202	53	8	137	63	175	651	10	23	2,169

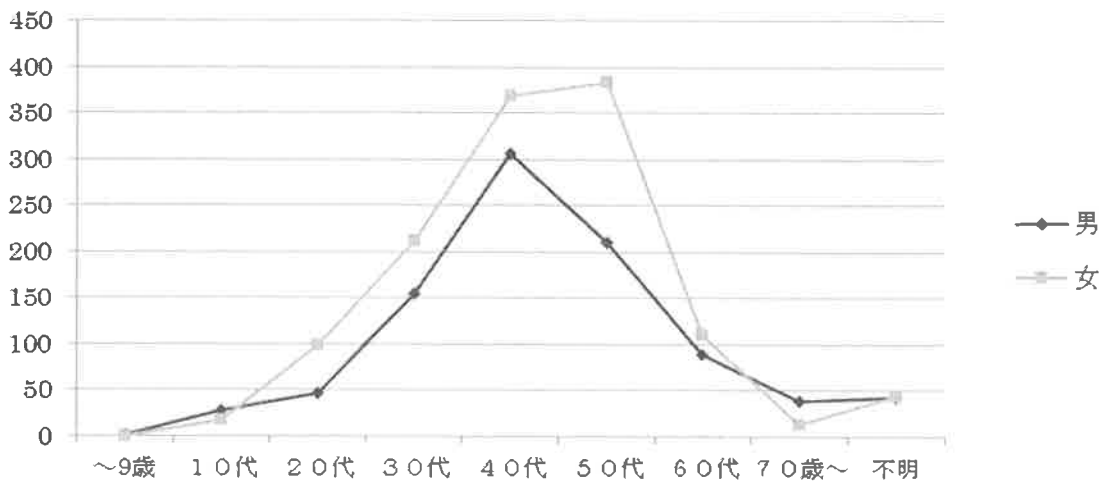
「内容別」自殺傾向の電話



男女とも「人生」「精神」に集中している。「人生」32.9%「精神」30%
 その他、男性は「職業」、女性は「家族」「身体」に関する内容が多い。
 生きづらさや孤独、及び精神的疾患の苦しみを訴える電話が多い。

(4) 年代別相談件数

	~9歳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳~	不明	合計
男	1	28	47	155	306	211	89	39	43	919
女	0	18	99	212	369	384	111	13	44	1,250
合計	1	46	146	367	675	595	200	52	87	2,169



自殺傾向の相談者は、40代が一番多く全体の31.1%である。男性は40代・50代、
 女性は30代・40代・50代が多い。(かけての年齢は、相談員の推定によるものが多い。)

3) 広報活動

- (1) 機関紙（年3回）及び事業報告書を発行した。
- (2) マスコミや县市町村の広報部門へ情報を提供した。
- (3) ホームページで広報活動を行った。
- (4) ポスター（茨城いのちの電話・フリーダイヤル・相談員募集）を広報のために活用した。
- (5) 機関紙、募集要項の配布先を拡大、病院・学校等約300団体を追加した。

3. 電話相談員の交流・親睦

- (1) 電話相談員の情報交換等のために、グループ連絡会を奇数月の第1土曜日に開催した。
- (2) 内部連絡紙を毎月1回発行した。
- (3) 地区別集会を開き、役員・相談員の交流を図った。
- (4) 相談員のリフレッシュのため、笠間工芸の森において交流会を企画し、25名が参加した。
- (5) ボランティア相談員を相互にサポートする具体的な活動として、「ほっとスタッフ」の仕組みを整え、6月から運用を開始した。

4. 財政基盤の確立

- (1) 財政の安定を図るために、後援会員の拡大をはかり、広く寄附金を募った。
- (2) 催事及びバザーを開催した。
- (3) 手づくり会・常設バザー・アルミ缶回収・募金箱の設置等自助努力を積極的に行った。
- (4) 寄付金機能付き自動販売機システムを導入し、各企業の協力を得て同型機の設置を積極的に推進した。

5. その他

- (1) 2017年9月22日（金）つくば市において開催された第41回日本自殺予防学会での電話相談員研修会への参加、および9月24日（日）に第42回自殺予防シンポジウムを共催し、多数の参加者を得ることができた。
- (2) 茨城いのちの電話 水戸開局25周年記念事業として2017年7月23日茨城県総合福祉会館において、奈良・薬師寺執事 大谷徹瑨氏による「幸せの条件」と題する講演会を開催し、213名の参加者があった。
- (3) 自殺予防及び相談員募集の周知活動のため、昨年に引き続き2018年1月20日（土）イーアスつくばにおいて開催された「ボランティアフェスタ in つくば」に参加した。